

富山県公立文化施設協議会(富山県文化ホールネットワーク公演事業)



設立年	富山県公立文化施設協議会:昭和41年 富山県文化ホールネットワーク公演事業:平成8年
地域	富山県
ジャンル	音楽・舞踊・演劇、伝統芸能等、総合 県民の文化意識高揚、地域文化の再発見・創造に資するもの
設立の経緯・目的	富山県内のほとんどの市町村が富山市内より1時間圏内に立地する地理的特徴や、近年の公立ホールの建設増加に伴い、課題となっている県下ホールの利用率低下への対応策として、富山県公立文化施設協議会加盟館同志のネットワーク化による公演の共同企画・制作等3つのホール活性化事業を実施。当事業を通じ、県民の芸術鑑賞機会の充実や、文化ホール相互の情報交換の促進、企画・運営能力の向上など文化ホールの活性化を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 公演の共同開催(富山県文化ホールネットワーク公演事業) <ul style="list-style-type: none"> H8年度・オーケストラ・アンサンブル金沢によるネットワーク公演(4館) <ul style="list-style-type: none"> 合唱によるネットワーク公演「コーラスメッセージ in TOYAMA」(3館) 桐朋アカデミーオーケストラによるネットワーク公演(4館) インターネットを活用した情報提供 ホールサポーター養成共同研修会開催 等
加盟機関数	32団体
加盟機関属性	富山県公立文化施設協議会加盟ホール
年会費	年額 15,000円/1団体 インターネットホームページ維持費 20,000円/1団体
事業費	4,400万円 H8年度富山県文化ホールネットワーク公演事業:3事業・14公演
公的助成	1,386万円 H8年度富山県文化ホールネットワーク公演事業:富山県→県公文協→各ホール
事務局	財団法人富山県文化振興財団

富山県公立文化施設協議会

ヒアリング記録

1997/10/15

富山県民会館

財団法人富山県文化振興財団 | 事務局次長・県民会館副館長 上野和博氏, 企画管理課副主査 土肥誠一氏

富山県民会館事業課長 竹中正男氏, 富山県民会館担当 水戸茂樹氏

財団法人富山県文化振興財団の概要

- 当財団は昭和 55 年 8 月に設立され、県立の 5 つのホール(富山県民会館、富山県教育文化会館、富山県高岡文化ホール、富山県民小劇場、新川文化ホール)等の県立文化施設を一元的に運営管理している。事務局は富山県民会館内におかれている。
- このうち、富山県民会館では昭和 57～58 年頃より自主事業を開始し、以降新聞社等民間企業との共催事業として年間 2 本程度の割合で実施してきた。現在はこれにネットワーク公演が年間 1 本加わっている。なお、併設美術館での年間 4 回の企画展、文化学園(カルチャー教室)も開催している。

富山県公立文化施設協議会(以下、県公文協)の事業概要

- 県公文協は、加盟施設 32 館、事務局を富山県文化振興財団内に置き、下部組織として自主文化事業研究部会、技術研究部会、業務管理研究部会を設置している。
 - 後述の文化ホールネットワーク公演事業は自主文化事業研究部会が担当、裏方ボランティアの募集・研修は技術・業務管理研究部会双方で行っている。
-

1. ネットワーク活動の概要**(1) 文化ホールネットワーク活動の経緯・目的**

- 富山県は、ほとんどの市町村が富山市内から 1 時間圏内に立地する地理的特徴に加え、近年のホール建設の増加により、対人口比当たりの公立ホール数が滋賀県に次いで全国で 2 番目に多いという特徴を有している。そのため、観客層が隣接ホールで重複するなど各ホールの利用率が比較的低い点が以前から課題として指摘されていた。
- このため、ホールの活性化策は、これまでも県公文協の自主文化事業研究部会においてホール間の交流事業等何度か提案してきたが、各ホール間の予算規模、施設規模等の違いにより実現しなかった。
- そこで、富山県において、公立文化ホールの活動実態を把握するため平成 6 年度に「公立文化ホール等活用検討調査」を行い、その報告書の中で公立文化ホールの活性化策 10 項目についての提案がなされた。
- この提案を受け県公文協では、ホール活性化策に向けての具体的な検討を行うため、平成 7 年度に検討委員会を設置し、①ネットワーク公演の実施、②文化ボランティアの育成、③インターネットを利用した県民への情報発信の 3 本を柱とするホール活性化策についてとりまとめた。この検討結果に基づき県公文協独自の事業として平成 8 年より文化ホールネットワーク公演事業(以下、ネットワーク公演)、平成 8 年 10 月よりインターネットによる情報発信、平成 9 年よりボランティアの募集をそれぞれ開始している。

- 特にネットワーク公演は、県民の芸術鑑賞機会の充実や文化ホール相互の情報交換の促進、企画・運営能力の向上など文化ホールの活性化の中心事業となっている。なお、このネットワーク公演には富山県からの助成を得ている。

(2) ネットワーク公演への参加ホール

- ネットワーク公演は県内 32 の県公文協加盟ホールを対象としており、事業への参加は各ホールの自発的な参加を原則としている。参加ホールの中には、貸館のみで自主事業を行っていないホールも対象となるが、公文協の事業であるため民間のホールは含まれていない。

(3) 具体的な活動内容

- ネットワーク公演は、県からの助成を受けていることもあり、地方文化の振興を目的としていることから、東京等で行われる公演の共同招聘ではなく、地元の演奏家・劇団等を活用した自主企画となるよう努めている。また、近隣館同志での同一公演の単純な巡回では、観客層がバッティングし集客力が低下する懸念があるため、公演内容を①統一のテーマを決め各ホールが公演、ワークショップ、シンポジウム等開催形態の分担を行う、②各ホールが統一テーマに沿ってはいるが異なる独自の公演を企画する等の工夫を取り入れている。
- 昨年度はオーケストラ・アンサンブル金沢によるネットワーク公演(4 館)、合唱によるネットワーク公演「コーラスメッセージ in TOYAMA」(3 館)、桐朋アカデミーオーケストラによるネットワーク公演(4 館)の併せて 3 事業が 11 館で開催された。
- 今年度は昨年度よりも多い 8 事業 24 館での開催を予定している。そのうち上記①のケースとしては、2 館で共同開催される「舞踏逍遥」があげられる。この事業では、出演者は同一であるが、富山県民会館が公演「彼方」と舞踏ワークショップ、砺波市文化会館が公演「未知の花」とシンポジウムを開催と公演および事業内容の分担を図っている。②のケースとしては、4 館でネットワークを組む「日本の心・伝統芸能祭」(ネットワーク公演名)があげられ、富山県教育文化会館「弦楽器の世界」、新湊中央文化会館「打楽器の世界」、富山県高岡文化ホール「獅子の芸能」、黒部市国際文化センター「女形ができるまで～素敵に歌舞伎」と、統一テーマに沿ってはいるが各館異なる公演を行う予定である。
- それぞれのケースをみても、各ホールの規模に適した公演形態・公演内容を選択できるようにすることで参加ホールの施設規模の違いを逆に活かしている。
- 県公文協加盟ホール内から公演希望ホールを募って実施するため、参加しないホールもでてくる。なお、県からの助成を得ているため、一つのホールでの重複開催は基本的に認めておらず年間 1 館 1 公演としている。
- 公演に際しては、共同公演の良さを活かした、ポスター、チラシ、チケットの共同発行や共通券の発売も行っている。ただし、各公演時期が異なることから各事業毎の情報提供が基本で、ネットワーク公演全体の宣伝はインターネット上での簡易な情報提供しか行っていない。

(4) 参加ホールの役割分担、運営方法

- ネットワーク公演の共同企画の立案から実施まで、県公文協の自主文化事業研究部会において実施している。企画決定のプロセスは、例年 7 月位迄に全加盟ホールより

来年度のネットワーク公演として行いたい具体的な公演内容の希望を吸い上げ、集計結果を数回調整の上第一次案を作成し、10～11 月にかけて実施公演名および実施ホールの割り振りまで含めた具体的な事業内容の調整を行いながら決定していく。

- ネットワーク公演への参加ホールの中には自主企画のノウハウを持たないホールもあることから、各事業毎に事業全体の幹事役として「とりまとめ館」を決めている。①のケースのように、出演者が同一の場合には、「とりまとめ館」が中心となり出演者との交渉を行うが、②のケースでは各ホールにより出演者が異なるため各館毎に出演者との交渉を行うこととなる。この「とりまとめ館」にはスタッフの充実しているホールがなることが多いが、業務負担が多くなりがちのため、理想的には実行委員会形式が望ましいと考えている。

(5) 民間ホールとの連携

- 富山県には大規模な民間ホールはなく 300 席程度の小規模なものが数館ある程度であることや、これらのホールは貸館中心のため、ネットワーク公演への民間ホールの参加はなされていない。また、民間プロモーターの関与はほとんどないといってよい。

(6) 経費負担と公的支援の活用状況

- ネットワーク公演の経費のうち、事務費等の共通経費は各館の折半、ポスター作成費などは作成枚数割りとしている場合もある。各ホールでの公演者が同一でない(3)の②のケースの場合には、各ホール独自に公演料の交渉・支払いを行うこととなる。
- ネットワーク公演には富山県より助成を受けており、昨年度は合計 1,386 万円、今年度 2,900 万円の助成が予定されている。この助成金は、県公文協へ一括交付され、県公文協よりネットワーク事業開催ホールへ分配する仕組みをとっている。これは他県とは異なる富山県独自の方法であり、助成窓口を県公文協に一元化できる等のメリットがあると考えている。
- 補助対象となる事業の条件は、県公文協が自主企画し、加盟文化ホールが共同で実施する公演事業であり、公演分野が音楽、舞踊・演劇、伝統芸能等、総合もしくは文化シンポジウムとなっている。1 館当たりの補助限度額は、音楽、舞踊・演劇、伝統芸能等で 200 万円、総合的な公演 300 万円、文化シンポジウム 50 万円となっている。
- なお、公演内容については、優れた芸術家と県内芸術団体等との共演や、地域に根づいた文化活動を組み込むこと、県民や青少年とのワークショップの取り入れ、文化ボランティアの積極的な参加など、住民が何らかの形で参加するよう工夫を図ることとしている。

(7) 公演以外のネットワーク活動の状況

- 文化ボランティアの育成事業は、各ホールの人材不足の解消を目的とするよりも、これまでの聴衆としての市民の参加形態である友の会から一歩前進させ、市民参加型のホールづくりを目指すものである。なお、これらのボランティアはサッカーの特定チームを育てるファンの名称をイメージし「ホールサポーター」と称している。
- 平成 9 年度にホールサポーターを募集したホールは県立の 5 ホールを含む県公文協加盟の 19 ホールである。
- ホールサポーターとして募集する業務は、公演時の入場整理、もぎりや舞台設営、照明・音響操作のほか文化事業の企画・運営等の業務である。各ホールで実際の業務を

行う前に県公文協にて基礎知識習得のための講習会を実施し、各ホールの負担を軽減している。なお、いきなり文化事業の企画・運営ノウハウまでの習得は困難なため、3～4年かけてホールサポーターを育成していきたいと考えている。

- インターネットによる情報発信では「県公文協」のホームページを作成し、各ホールの施設概要や公演予定の他、友の会、ホールサポーター募集の告知、ネットワーク公演の紹介等を掲載している。なお、公演予定には、利用者の利便性を高めるため、ジャンル別での検索も可能にしている。個別ホールのホームページは全国で40件程度あるようだが、県公文協ベースでのホームページは他に例がないのではないかと。但し、各ホールの運営団体が異なることもあり、チケット販売までには至っていない。
- このホームページ運営管理費として年間各ホールより2万円を徴収している。参加ホール数が多いため各ホールの負担金を少額に抑えることができるメリットがある。
- ホームページへのこれまでのアクセス状況を見ると、10件/日とまだまだ利用頻度は高くないが、各館負担金年間2万円で広く県民に各ホールの情報提供が可能な点でメリットがあるといえるのではないかと。

2. ネットワーク活動の効果、問題点・課題等

(1) ネットワーク活動による効果

- ネットワーク公演では、地元の芸術団体を活用し発表の場を提供していること、住民を対象としたワークショップを開催していることなどから、地域文化の振興に寄与しているものと考えている。
- 単一ホールで公演を実施した場合とネットワークを組んで公演した場合を比較し具体的にどの程度の経費削減効果があるかは確かめてはいないが、共同で事業を行うことで広告宣伝費や事務費、会議費等を削減できている点もメリットとしては大きい。
- これまでは自主事業を行っていなかった中小のホールについても、共同で開催するホール(特にとりまとめ館)との情報交換により事業企画に関するノウハウが蓄積し、各ホールのレベルアップが図られている。
- また以前は、隣接ホールとの交流も少なく公演のバッティング等も起こっていたが、ネットワーク事業を通じた隣接ホール間の人的交流が生まれ、単一ホールでの事業の際の相談相手拡大にも繋がっている。

(2) ネットワーク活動の問題点・課題

- ネットワーク公演の内容決定に際しては、各施設毎に立地条件、設立趣旨、予算規模、ファン層等のバックグラウンドが異なるため、公演内容と各ホールの要望とをマッチングさせることが難しいケースもある。また、各ホールとも同一事業でネットワークを組む公演では、各ホールのオリジナリティが出せず存在意義が問われる点を危惧しているところもある。
- そのため、この公演内容の調整段階では、各館の独自事業との演目のバランス、日程等を調整する必要があり、時間と手間が非常にかかる。特に隣接ホール同志での共同公演の場合、日程調整や内容が希望通り行かないことがより強調されるケースもある。
- 来年度の企画決定のタイミングでも、県(10月)と市町村(11月)の予算案策定時期の違

いによる調整の難航や、単年度予算のため前年度には予算確保が不透明な中で企画立案作業を進めなければならない不安もある。また、予算成立(2月)後の3~4月に入らなければ本格的な準備業務が始められないため、高稼動ホールの空きが少なくなり、各ホールの公演日程の調整が難しくなる、あるいは劇団との交渉等を上期に行わざるをえないため実際の公演が下期以降に集中するなどの制約が課せられる。

- 各ホール毎のノウハウの有無、スタッフ数の大小によりネットワーク公演への参画意欲の温度差が生じ、「とりまとめ館」がスタッフ数、ノウハウの比較的豊富な県立ホールになる場合が多い。特に貸館事業のみを行っているホールでは、自主企画のノウハウが不足していることや、自主事業の公演内容が貸館事業と比較し地味であることなどの理由で協力がなかなか得られないこともある。そのため、このネットワーク公演が軌道に乗り、参加全ホールのレベルアップが図られるためには5年位はかかるかとみている。
- 市町村ホールでは定期的なスタッフの異動によりノウハウの蓄積が難しいという悩みを抱えているが、当財団の場合には、管理する5つのホール内での人事異動が可能のため、異動先でこれまで蓄積したノウハウが活用できる体制となっており、ノウハウ継承の面では苦労していない。

(3) ネットワーク公演の将来的な展望

- ネットワーク公演への参加意欲がまだまだ十分でないこともあり、県公文協から個別ホールに働きかけて参加を促す例もあることから、今後は各ホールのより自発的なネットワーク公演への参加が望まれる。
- 現状のままではこれ以上各ホールの集客力向上は難しく、今後は隣接県である石川県・新潟県にまでネットワーク拡大の働きかけを検討していきたい。
- 県公文協としては、今後いかに各ホールが地域住民に一層親しまれるかに知恵を絞る必要がある。

以上

■富山県文化ホールネットワーク公演事業内容■

平成8年度(3事業:14公演)

公演名	開催日	開催文化施設	入場者
オーケストラ・アンサンブル金沢によるネットワーク公演			
協奏曲の夕べ	7/28	北アルプス文化センター	550名
文化ボランティア・友の会発会記念 チェロと合唱と吹奏楽の夕べ	7/30	北アルプス文化センター	405名
おおやまふれあいコンサート 合唱団「おおやま」メサイアを歌う	8/25	大山町民文化会館	380名
会館10周年記念ニューイヤーキリンコンサート 安念千重子新春に歌う	1/11	富山県高岡文化ホール	470名
世界のバリトンシリーズ クラウス・オッカーバリトンリサイタル	1/22	小杉町文化ホール	250名
オーケストラ・アンサンブル金沢コンサート	2/12	小杉町文化ホール	445名
合唱によるネットワーク公演「コーラスメッセージ in TOYAMA」			
東京混成合唱団	1/18	高岡市民会館	795名
田中信昭氏による合唱指導ワークショップ	1/19	高岡市民会館	139名
女性合唱団るらん演奏会	2/10	富山県民会館	559名
栗山文昭氏による合唱指導ワークショップ	2/9	富山県民小劇場	179名
桐朋アカデミーオーケストラによるネットワーク公演			
桐朋アカデミーオーケストラ演奏会	3/25	立山町民会館	275名
	3/27	入善町民会館	241名
	3/29	クロスランドおやべ	339名
	3/30	庄川町生涯学習センター	241名

平成9年度(8事業:24館)

公演名	開催日	開催文化施設
日本の心・伝統芸能祭		
ひく・はじく・つまびく～弦楽器の世界～(仮称)	12/12	富山県教育文化会館
たたく・うつ・ならす～打楽器の世界～(仮称)	12/13	新湊中央文化会館
獅子の芸能(仮称)	3/8	富山県高岡文化ホール
女形ができるまで～素敵に歌舞伎～	3/9	黒部市国際文化センター
舞踏公演「善知鳥うとう」—光・音・華・舞踏—		
舞踏公演「善知鳥うとう」	2/26～2/28	富山県民会館
舞踏ワークショップ(和栗由紀夫氏)		
舞踏仕込みワークショップ	1/30～2/1	砺波市文化会館
舞踏公演「善知鳥うとう」(オムニバス形式)		
桐朋オーケストラアカデミー		
打楽器アンサンブル	10/27	富山県利賀芸術公園
打楽器アンサンブル	11/15	宇奈月国際会館
室内アンサンブル	未定	滑川市民会館
室内アンサンブル	未定	クロスランドおやべ
合唱団「おおやま」と室内アンサンブルの共演メサイアを歌う	7/28	大山町民文化会館

劇団ピープルシアターを迎えて「演劇セッション in TOYAMA」		
ワークショップ(実技指導)	10月～1月	富山県東部(4回)・西部(4回)
ワークショップ(演劇講座)	1/16	富山県民小劇場
演劇公演	1/14	富山県民小劇場
	1/15	新川文化ホール
	1/17	高岡市民会館
	1/18	井波町総合文化センター
志の輔とゆかいな仲間たち		
落語(立川志の輔：富山県出身)等公演	未定	入善町民会館
	10/12	北アルプス文化センター
吉本お笑い演芸		
吉本興業所属の芸人による演劇ショー (ホールサポーター養成・育成)	8/5	大沢野町民文化会館
	8/6	立山町民会館
	8/30	大門町総合会館
	8/31	庄川ふれあいセンター
アフリカン・パーカッション・ワークショップ		
アフリカン・パーカッション・ワークショップ	8/17	小杉町文化ホール
	8/22～24	福野町文化創造センター
アート・マネージメント・シンポジウム		
富山県東部地区	未定	富山県東部(未定)
富山県西部地区	未定	富山県西部(未定)

■文化ホールネットワーク公演事業の企画・制作年間スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事務局				← 各館提案の 取りまとめ →			← 実施公演内容・ 開催ホール調整 →		● 次年度公演内容・ 開催ホール決定			
加盟 ホ ー ル		← 次年度企画 検討・提案 →					← 事業 内容・ 予算 検討 →		● 来年度 予算 決定		← 本格的な 準備業務 開始 →	

平成9年度富山県文化ホールネットワーク公演事業例



和栗由紀夫 わぐりゆきお
舞踏ダンサー／好善社主宰

1972年より舞踏の創始者である土方 巖に師事。現在、和栗由紀夫+好善社を主宰し、東京を中心に活動を展開している。代表作品に「青い柱」「日月露」「野の唄」など。CD-ROM「舞踏花伝」として発表される。今回の新作は、富山の7回目の発表作品となる。



岡崎 忍 おかざきしのぶ

草月流舞奏会会長
1954年 富山市生まれ
1977年 武蔵野美術大学デザイン科卒業
1979年 同大学卒業後、毎月工務に入社
勤修河原 泉 家元の制作アシスタント
舞踊工房を退社し独立
1987年 富山県芸術文化協会奨励賞受賞
1990年 やまぎ賞受賞
1991年 草月流富山支部舞奏会会長に就任
1994年 第4回保蔵(草月会館)
1997年 本館主催地方研究会講師(福島・福井・富岡)



千 章修 せん あさのぶ
シテ方宝生流

1928年生まれ 富山市在住
1969年 初シテ「猿々」「乱」「石橋」「追成寺」「翁」などを演ずる
富山県能楽団体連絡協議会会長
富山県宝生会副会長兼能楽委員長
富山新聞芸能部／北日本新聞文化賞
富山市文化功労賞／富山県文化功労賞
などを受賞する

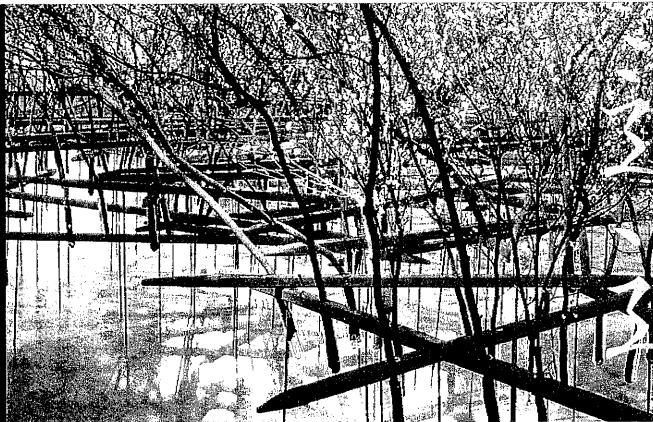


稲見之羽子 いなみのほこ
チェロ奏者／学校法人富山音楽院院長

富山市生まれ
武蔵野音楽大学器楽科チェロ専攻卒業
1990年 (学)富山音楽祭40周年記念公演
(N)権員とともに演奏
1992年 ベルサイユ祭(フランス)に参加
1993年 ドボルツァークのチェロ協奏曲
を演奏(むさしの会)
1996年 ラフマニノフチェロソナタを演奏
(富山音楽院サマーコンサート)
1997年 学校法人富山音楽院院長に就任
その他室内楽・弦楽合奏・オペラ
等多数参加

●スタッフ

振付・演出／和栗由紀夫
舞台監督／北条 孝
照明／相川 正明
衣裳／谷口 佳城
音監／金沢 朝台
制作／ナガシマヨシホ(マイラストーン・アートワークス)
和栗コハナ(好善社)
宣伝写真／岩切 等
宣伝美術／押切屋之
印刷／大泉印刷(株)
協力／草月流舞奏会 ホール・ボランティア



舞踏 道遥

舞踏 和栗由紀夫+好善社 美術 岡崎 忍

平成9年度富山県文化ホールネットワーク公演事業

富山県民会館

『彼方』 新版 善知鳥

舞踏・花・音・光の響宴

「彼方」とは見果てぬ夢。過去とは私たちにいつつ、つねに遠のいていく風景である。今という時も、暗時にして過去に迷って替わる。つまり私たちが身体とはいつも直す。過去と現在と未来の交差する場所なのである。だから、何が起きてもし不思議ではない。むしろ、一番不思議なのは、自分自身かもしれない。世界で一番遠いのが自分の身体なのだから。今回は「立山」を主題とした能「善知鳥」を中心に、能楽・西洋クラシック音楽・生け花・舞踏という月の住人たちによって雪見の一夜が催される。

第一章「善知鳥」 生と死が交流し葛藤する客物としての身体
第二章「月狂い」 月にまつわるさまざまな神話を題材に
第四章「地図」 私たちの皮膚に刻まれた記憶

2/28

チケット ¥3,500

- ・出演者
和栗由紀夫
川本タチ子
堅田知里
島田明日香
十亀修之介
鈴木康弘
- 美術
岡崎 忍 (草月流)
- 能楽
千 章修 (謡)
大間知良夫 (謡)
勢澤邦彦 (大鼓)
石政弥一 (小鼓)
千くみ子 (笛)
- 洋楽
稲見之羽子 (チェロ)
朝木裕美 (ピアノ)
- 里見治美 (ピアノ)

砺波市文化会館

『未知の花』 彼方より

花バフオーマンスト舞踏

「花伝書」に曰く、「花はいのちなり」人は流れの中で生きていく。その時々々の花の色はその人の命の色である。身体という器から命は花の香のようにただよび出し、もつとつこの命とつながる。にじむ色、ぶれる色、かたまる色、さまざまの色や形はまた、私たちの生きているかたちでもあり、今宵一夜、草色の月とともに大なる宴を迎えよう。

ヘシンボジウム 舞台創造の現場から
・出演者
コリー・ネーター 坪田孝弘(県民小劇場館長)
和栗由紀夫(舞踏)／岡崎忍(草月流)／相川正明(照明)
可西晴香(現代舞踏)

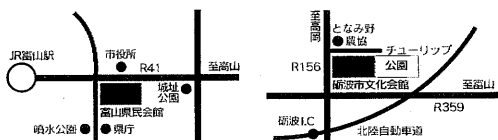
2/1

チケット ¥2,000



- ・出演者
和栗由紀夫
川本タチ子
堅田知里
岡崎 忍 (草月流)

[両館共通チケット ¥5,000]



富山県民会館 富山市新緑通4-18 TEL 0764-32-3111

砺波市文化会館 砺波市花園1-32 TEL 0763-33-5515

舞踏ワークショップ

日時：1997年10月～1998年2月
(金/19:00-21:00、土/13:00-16:00)
会場：富山県民会館 (参加費：無料)

講師：和栗由紀夫 定員：30名 約2～3時間/金・土2日間×5回
対象：10歳～健康で身体表現に興味のある方(経験は問いません)
※5回のワークショップに、連続して参加できる方を募集しています。
※受講生の中から15～20名程度富山公演に出演していただく予定
※お問い合わせ、お申し込みは富山県民会館までTEL 0764-32-3111

- 主催／富山県民会館 砺波市文化会館 富山県民小劇場
- 共催／北日本新聞社 北日本放送 FMとやま
- 後援／富山県 富山県教育委員会 富山市 富山市教育委員会 砺波市 砺波市教育委員会 富山県公立文化施設協議会 (財)富山県文化振興財団 砺波市文化協会 富山県能楽団体連絡協議会 草月流舞奏会

チケット取扱いプレイガイド

富山県民会館 富山県民小劇場 北日本新聞文化センター 富山西武 大和富山店 インフォーマット(CIC・市民プラザ) マイラストーン・アート・ワークス
間道堂末広町店 大和高岡店 戸出ハニー 砺波市文化会館 クロスランドおやべ へリオス(福野) ベル(福光) アスモ(井波)

●お問い合わせは…… 富山県民会館 TEL 0764-32-3111 砺波市文化会館 TEL 0763-33-5515 マイラストーン・アート・ワークス TEL 0764-93-9777

■ホールサポーター募集広告■

ホールサポーター募集

業務内容

- ① 舞台設営及び舞台・音響・照明操作
- ② 入場整理・入場券もぎり・客席案内及び楽屋の世話等
- ③ 文化事業の企画・運営
- ④ 友の会会員として文化事業を支援

※施設によって業務内容が異なりますので、詳細については、各文化ホールに直接お問い合わせ下さい。

募集先

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| 入善町民会館……………0765-72-1105 | 小杉町文化ホール……………0766-56-1515 |
| 黒部市国際文化センター…0765-57-1201 | 新湊市中央文化会館……………0766-82-8400 |
| 新川文化ホール……………0765-23-1123 | 高岡市民会館……………0766-20-1560 |
| 立山町民会館……………0764-63-3535 | 富山県高岡文化ホール………0766-25-4141 |
| 大山町民文化会館……………0764-83-0001 | 福岡町総合町民センター…0766-64-1030 |
| 大沢野町民文化会館……………0764-68-1191 | クロスランドおやべ……………0766-68-0932 |
| 富山県民会館……………0764-32-3111 | 砺波市文化会館……………0763-33-5515 |
| 富山県教育文化会館……………0764-41-8635 | 福野文化創造センター………0763-22-1125 |
| 富山県民小劇場……………0764-45-4531 | 井波町総合文化センター…0763-82-5885 |
| とやま自遊館……………0764-44-2100 | |

ホールサポーター養成講座

受講者募集

ホールサポーターに関心のある方なら、どなたでも受講できます。

- 申込方法 電話でお申し込みください。
- 申込先 富山県高岡文化ホール 電話 0766-25-4141
- 申込期間 平成9年8月20日(水)まで(9時～18時、ただし火曜日は休館です。)
- 主催 富山県公立文化施設協議会

無料

内 容	講 師	日	時 間	場 所	定員
講演「私たちのまちづくり (文化ホールがまちをつくる)」	武生国際音楽祭推進会議 事務局長 山本有一郎氏	8月23日(土)	14:30～16:00	県民会館401号室	150名
基礎講座	公立文化ホール職員	8月29日(金)	18:30～21:00	教育文化会館ホール	40名
	公立文化ホール職員	9月 1日(月)	18:30～21:00	教育文化会館ホール	40名
	公立文化ホール職員	9月 3日(水)	18:30～21:00	教育文化会館ホール	40名

■富山県公立文化施設協議会インターネットホームページ■

TOYAMA-ken koritsu bunka shisetsu kyogikai

1/1 ページ

ようこそ, 富山県公立文化施設協議会のホームページへ

このWebでは富山県公立文化施設協議会の活動と 富山県内32施設の情報をご案内しています。

*Last updated, 1997/10/1
Last modified, 1997/10/12*

3667 番目の来場者としてお迎えしています。



- ・ **施設・イベント情報**では、富山県内の32の公立文化施設等で開催されるイベント情報と施設概要を案内しています。
- ・ 各地の文化施設をサポートする **友の会 及び ステージボランティア**を募集しています。詳細はそれぞれのコーナーをご覧ください。
- ・ 富山県公立文化施設協議会が富山県及び県内市町村の助成を受け開催する、**ネットワーク事業**の内容が決定しました。通常より低額ですばらしい文化の鑑賞の機会を提供する企画です。皆様のご来場をお待ちしております。
- ・ ご意見・ご感想は、**アンケートボックス**にお寄せ下さい。
- ・ 注目! **第1回富山県民芸術文化祭案内**

このホームページに関するご質問・ご意見には、折り返し回答させていただくためにも 住所・氏名・電話番号・電子メールアドレス等を明記して下さい。
また、チケット予約等は現在電子メールでは取り扱うことができませんので、直接に主催される団体へ連絡をとって下さい。

<mailto:mirage@nsknet.or.jp>

ポリテクカレッジ富山(所在:魚津市)がHTML記述やデザインに協力しています。
各ページは HTML 3.0 でデザインしています。Netscape2.02以降で見られることをおすすめします。